

(1) 市内に点在する忠魂碑の現状および課題に関すること

前回の会議での意見や課題について

- ・忠魂碑の解体・撤去について、平和祈念館の立場からは賛同できないが、現実問題としてやむを得ないという話になった場合に、調査報告書とか子ども向けのパンフレットなど作れたらよい。
- ・撤去した部材は、可能であれば文化財の保存施設に寝かせた状況でもいいし、安全な状況で保存してオリジナルは場所が動いたけど残っていますよという状況をつくれたらよい。
- ・遺族会は忠魂碑を維持管理している立場だけなので、撤去しますということとは言えない。
- ・忠魂碑をつくったときの最終的な責任は村、それを引き継いだ市だと思うので行政として説明する必要がある。
- ・忠魂碑は、戦争遺跡ではないが過去に生きてきた文化財として次世代に残していく必要がある。
- ・文化財的な立場として保存をすれば、同じ場所にオリジナルを置くとまた同じように維持管理の問題が出てくるので、維持管理がいない施設に置くなどの配慮が必要。
- ・現地にモニュメントは必要ない。説明板的なものをつくって、行政が管理する、それぐらいのものでよい。
- ・説明板として、当時の写真であったり、つくられた背景など説明したものをとると文化財担当課と相談しながら考えることとなる。
- ・危険なもの、あるいは維持管理が難しいところは何らかの形で撤去せざるを得ないが、そこが更地になって、歴史の跡が無くなってしまいう事だけは避けるべき。物は維持管理のかからないもの、あるいは公民館など自分の地域で過去のことが学べるとよい。
- ・忠魂碑の解体・撤去についての金銭面の負担を遺族会に求めるのは難しい。

今後の方向性について【中間的な論点整理】

- ・最終的な判断ということで安全面等、維持管理が困難になっている現状などをアンケート等を踏まえて十分に根拠を持って、解体もしくは集約という方向性で決定していただきたいと思います。
- ・現存する12基の忠魂碑について、老朽化等により解体することとなった場合の費用や方法については第4回市民会議にコンサルタント業者にも入っていただきながら進めていきます。
- ・解体や撤去に至る忠魂碑は調査等を実施する方向で歴史性を担保します。忠魂碑解体後の跡地については、その場所に建立されていたという事実を説明板に残すなど、具体的な内容については調査をして判断して決めていきます。忠魂碑の設置時期、経緯、撤去に至った事情を説明板に明記し、忠魂碑跡地の土台部分等に表示し後世に伝える方法を検討していきます。
- ・撤去方法や金銭面の負担については、地元の負担が求められるか、公費負担で進めていくか本会議の中で方向性を決めていきます。
- ・データとして記録媒体に残すなど資料として残していきます。
- ・平和学習の資料としては、今後、調査をして進めていきます。
- ・忠魂碑については、尊厳を保ちながらどう処分するか、忠魂碑以外の慰霊碑についてもどう整理するか、取め方を考えます。

(2) 市全体の平和の象徴として、非核・平和を祈念する新しい象徴をどう整えるかについて

前回の会議での意見や課題について

- ・戦没者等の軍人・軍属だけでなく、戦争で犠牲になった幅広い犠牲者（空襲での犠牲者、勤労働員の工場で過労死された方など）を追悼し、平和を願う「平和の礎」をつくるということが第一の提案。
- ・石碑に名前を刻むことは非常に重要。石碑が出来たときに一時的に刻んで終わりではなく、戦争で犠牲になった方すべてを探し続ける努力が必要。名前は軍人・軍属・一般の方のような形の分け方はしない、命に差をつけることはしない。
- ・いろんなかたちで亡くなった方、韓国人、朝鮮人、オーストラリア人の捕虜の方、結構犠牲になっておられる。
- ・名前を刻まれた方と刻まれてない方の差、刻むとすれば名前プラスアルファの何らかを一緒に刻む。
- ・歴史的な事実と考えるならば全員の名前を刻む。
- ・遺族会や傷痍軍人会という二つの組織の会員の方々にも意見を聞く。

今後の方向性について【中間的な論点整理】

- ・新しい平和の象徴をつくって終わりではなく、今後先々、新たに名前を刻み込めるようにするとか市民会議としてはここで終わりではなく、常に将来に開かれたものというかたちで考えていきます。
- ・戦没者等の軍人軍属だけではなく、戦争で犠牲になった幅広い犠牲者を追悼し平和を願う「平和の礎」を造ります。
- ・碑に名前を刻み、未来を担う世代に平和の大切さを継承していきます。空襲での犠牲者、勤労働員で亡くなった方などもう少し幅広い市民の名前を刻む。戦争犠牲者を調査して分かれば後からでも刻みます。刻銘料については見積書を参考に検討していきます。
- ・誰もが集える場所に恒久平和の象徴として設置していきたいと考えます。
新しい平和の象徴は、市が維持管理していく。建造物等については市の所有管理とします。
- ・遺族の中には名前を挙げないでほしいという人もいるのではないかと思います。碑への名前を刻むのは、公募により希望する人だけの名前を刻むこととしたいと考えます。
- ・戦争犠牲者のお名前を碑に刻むだけではなく、20~30文字のコメントを広く公募し冊子にするなどして残します。コメントについては、つながりのある親族の事などエピソードとして残すこととします。
- ・「平和の礎」は、令和5年度に完成予定とします。建立場所は、原則市有地、「平和の礎」は市の財産として維持管理していきます。
- ・「平和の礎」のデザインは、今のところ具体的に考えていることは、石造りの刻銘版、刻銘は石面に刻み、名前は横書き（英語標記等に対応）、設置は適宜の広さの芝植栽地（緑）に立柱（黒）、全体を「慰霊と平和祈念」のゾーンとし、正面辺りに石造りの献花台を備え慰霊と祈りのエリアとします。
- ・「平和の礎」の趣旨、経過、由来など募集提案を作成します。

(3) 戦没者および戦争犠牲者への哀悼や新たな顕彰の形に関することについて

前回の会議での意見や課題について

- ・ 平和祈念式典や平和学習も含めると、かなり広く課をまたいで様々な取り組みを行っていく必要がある。
- ・ 8月の第1土曜日に開催される米原市平和祈念式典ともう一つ遺族会では仏式で法要をしている。遺族会としては、1年に1回くらいは法要的なものを新たな「平和の礎」のところでやらせていただきたい。
- ・ 平和祈念式典会場の近接地で、式典の数週間から1か月程度前から、戦時中地域でどういうことが起きたかということがわかるような展示をさせていただいて、追悼と平和の思いを込めた式典をいつやりますという風な形の広報もして、両輪的な形でできればどうか。
- ・ 展示などについては、文化財の担当者も本会議にオブザーバーとして是非参加していただきたい。
- ・ 折角、いいものが出来るのだから、式典も1回だけでは寂しいし、次世代を担う子どもたちが活用できるようなものになればと思う。
- ・ 地域での体験を地元の方が知っている事をやりながらそういうことを集める取り組みを年に1回は行うとか、式典だけに終わることにならないように提案する。
- ・ 今後も戦争に関する資料を集めることは継続していかなければいけない。もう一つは、子どもたちに興味を持っていただくためには、実体験をするということが非常に大事だと思う。平和祈念公園の中に、防空壕などを作り、親子で体験いただくのはどうか。

今後の方向性について【中間的な論点整理】

- ・ 誰もが参加しやすい式典を検討していきます。
滋賀県平和祈念館と連携するなどして事業を展開するなど新たな取り組みも計画していきます。
- ・ 地域でどういうことが起きたかというものを式典の2～3週間前よりパネル展示するなど、式典に向かって盛り上げていくなど、人を集める取り組みを行事化していきます。
- ・ 平和祈念館から戦争に関するパネルを借用、市内の戦争遺跡について、大野木の旧柏原村穀物倉庫や磯の機銃掃射などの遺跡を事前に巡るなどのプレイベントなどの取り組みを進めていきます。
- ・ 地域での平和学習の取り組みの紹介など、地域の身近な出来事を収集することを進めていながら、式典だけに終わることがないよう提案していきます。

(4) 今後のスケジュール等について

今後の方向性について【中間的な論点整理】

- ・来年度（令和4年度）は、現存忠魂碑の対応策、新しい象徴の建立（設置のイメージ、刻銘者の公募方法、場所、時期、事業費等）の全体像を整え、令和4年7月には刻銘者公募を行い、現存する忠魂碑の対応策について、実施に向けた関係団体、地元協議を進めていきます。
- ・市民会議の中では、「新しい象徴の建立の趣旨」、「追悼と平和祈念の基本的な考え方」をもって場所やデザイン等を決めていきます。
- ・新しい平和の象徴「平和の礎」の建立について、実施期間は令和4年度、5年度の2か年、建立場所は原則市有地とし米原市の財産として維持管理していきたいと考えます。
- ・新しい平和の象徴「平和の礎」は、石造りの刻銘版、刻銘は石面に刻み、設置は適宜の広さの芝植栽地（緑）に立柱（黒）、全体を「慰霊と平和祈念」のゾーンとし、正面辺りに石造りの献花台を備え慰霊と祈りのエリアと考えています。
- ・新しい象徴の説明や、米原市非核・平和都市宣言も石造り刻銘版に刻むことで全体の一体感に配慮していきたいと考えています。
- ・「平和の礎」のデザインなどのイメージを外構等も含め第4回市民会議の中で委員のみなさまにお示ししていきます。
- ・非核・平和モニュメント整備計画策定業務については、第4回市民会議より、株式会社キクチコンサルタント様にも参加いただき、具体的な提案などをお願いしたいと考えています。
- ・「平和の礎」については、そこで平和祈念式典が開催できるよう周囲の環境（木陰ができるような植樹等）も検討します。